

知的障害を伴うASD者に 有効な就労支援に関する考察

～BWAP2によるソフトスキルのアセスメントとその支援～

○ 横山 明子（早稲田大学大学院 教育学研究科 修士2年）

梅永 雄二（早稲田大学 教育・総合科学学術院）

コウ イチイ（早稲田大学大学院 教育学研究科 修士2年）

トピックス

1. 目的
2. 事例
3. まとめ

目的

就労につながる力とは...

ハードスキル

- プログラミング
- 語学力

ASD者の課題

ソフトスキル

- 援助要求
- 修正の受け入れ

↓
アセスメント
(BWAP2)

プロフィール

名前	
性別	
年齢	19歳
診断名	知的障害を伴う自閉スペクトラム症、ダウン症候群
その他	生活訓練施設に通所中
目標	一人暮らしに向けて必要な生活スキルと 就労に必要なスキルの向上

結果

支援目標・計画

仕事の習慣・態度（HA）領域

支援目標項目：「適切な服装」「身だしなみ」

- 詳細：寒暖差に対応できる服装選び、TPOに合わせた服装選び

支援計画

- 写真等の視覚的指示を用いて、気温やTPOに合わせた服装の選び方の指導
- チェックリストの活用

支援目標・計画

対人関係（IR）領域

支援目標項目：「上司や同僚への対応」

- 詳細：同年齢の利用者に対して馴れ馴れしい口調

支援計画

- 敬語の使い方や会話のマナーをモデリング等によって指導
- 敬語を使用する場面を明示的に指導

支援目標・計画

認知スキル（CO）領域

支援目標項目：「計測」「作業の移行」

- 詳細：定規がズレてしまう、次の作業への移行時に何をやるかわからない

支援計画

- 定規に視覚的支援を施す、どんな支援が有効か継続的にアセスメント
- スケジュールやワークシステムの有効活用

支援目標・計画

仕事の遂行能力（WP）領域

支援目標項目：「道具の返却」「安全対策」

- 詳細：大まかな返却場所はわかるが収納方法の理解は限定的、刃物の安全な扱い方に課題

支援計画

- 返却場所に正しい収納方法の見本を設置
- 視覚的指示書を用いて一人暮らしに必要な警報等の知識、刃物の扱い方の指導

考察

1. どんなスキルをどの程度獲得しているか整理しやすい
2. 支援者間での支援・指導において共通の指標が持てる
3. 合理的配慮の必要性や課題点について、支援者と対象者とで共通認識を得られやすい
4. ソフトスキル・ライフスキルの項目が多く含まれていることで、網羅的に対象者を把握することができる
5. 自信を持って指導をすることができる



参考文献

梅永雄二：発達障害者の就労上の困難性と具体的対策：ASD者を中心に.日本労働研究雑誌,2017, Vol.2017年(8月)(685)

梅永雄二：発達障害の人の就労アセスメントツールBWAP2（日本語版マニュアル&質問用紙）. 合同出版. 2021.

高齢・障害・求職者雇用支援機構 障害者職業総合センター研究部門：発達障害者の職業生活への満足度と職場の実態に関する調査研究. 2015.